

TOPICS & INFORMATION



io.LEAGUE2024

全6チームで1月16日に前期リーグが開幕



▲「SHOWCASE」参戦時の福岡チーム。io.LEAGUE参加の全6チーム中、もっとも地域性豊かなメンバー構成だ(1月12日、ボウリングアロー八尾店)

(公社)日本プロボウリング協会(JPBA/谷口健会長)がプロボウリング及びプロボウラーの認知度向上を目的に創設した新機軸のチーム戦「io.LEAGUE」が、来年1月16日にいよいよ開幕する。12月1日現在、同リーグの

公式ホームページにて発表されている開催日程と出場チームは別表のとおり。選手は1チーム男女各4名まで登録できるので、さらにメンバーが追加登録される可能性がある。

各チームのオーナーやスポンサー、設立の経緯等の詳細は、今号締め切り後の12月5日にJPBAが都内で予定している記者発表会で明かされる見込み。現時点では唯一、愛媛チームのオーナーが今治市に本社を置く東汽船株式会社の越智崇代表で、チーム名が「愛媛オレンジ

サンダース」であることを、本人がSNS上で公表している。

競技は今年1月に行われたテスト大会「SHOWCASE」同様、ベーカー方式の男女混合4人チーム戦で1試合3G、カレントスコアシステムが採用されるが、東西の2会場をつないだリモート対決構想は諸般の事情で断念。6チームが一つの会場に集っての前・後期制となった。

前期会場には都内豊島区池袋のロサボウルが予定されている。

なおJPBAは現在、同リーグの運営費用の一部をクラウドファンディングにて募集中(24年1月15日まで。募集画面には下のQRコードから入ることができます)。大会の成功を期し、プロボウリングファンに支援を呼びかけている。



io.LEAGUE 出場チームと開催日程

愛媛	山本勲・山下昌吾・和田秀和・三浦美里・山田幸・浅田梨奈・幸木百合菜
東京	藤井信人・藤村隆史・坂本就馬・姫路麗・坂本かや・大嶋有香
大阪・神戸	小原照之・安里秀策・大久保雄矢・寺下智香・久保田彩花・石田万音
湘南	永野すばる・斉藤琢哉・甘糟翔太・名和秋・小久保実希・本橋優美
福岡	川添奨太・原口優馬・藤永北斗・中野麻理子・中島瑞葵・原野萌花
千葉	森本健太・高田浩規・戸辺誠・川崎由意・岩見彩乃・霜出佳奈

【開催日程】前期=2024年1月16日(火)~19日(金)/後期=8月27日(火)~31日(土)

JPBA☆SSSカップ A・LA・CARTE ダブルス戦優勝は姫路麗&黒田アーサー Bro.KORN氏が表彰式にサプライズ登場!



▲プロアマダブルス戦優勝の姫路&黒田チーム

「全卸連プレゼンツ」としては今年が最後の開催となるJPBA☆SSSカップ(4面掲載)だが、今大会も多数の協賛スポン

サーとギャラリーを集めて盛況裏に幕を閉じた。

女性2人のロックユニット・AINAKANNAが新たな大会テーマソング「ORIGINAL」を提供し、最終日のTV決勝前にミニライブを開催。プロの準々決勝3Gが男子プロ&女子シニアアマ、女子プロ&男子シニアアマによるプロアマダブルス戦を兼ねて行われたのも例年どおり。そのダブルス戦では、大会初出場の俳優・黒田アーサー選手(62歳)が、姫路麗とのペア

で見事優勝を飾った。

また表彰式には、現在がん闘病中の歌手、Bro.KORN氏が担当医の許可を得てサプライズ登場。第1回大会からホストアマを務め、昨年まで姫路とのペアでダブルス戦に出場していたKORN氏の元気な姿が、大会の掉尾を明るく照らした。

「森友が亡くなって、従来の役割に加えて彼の方もこなさなければならなかった。心身ともに疲れ果てました(苦笑)。でも今回は、ベテランと若手が

がっすり四つですごくいい試合をやってくれて見応えがあった。森友の写真をかざしながら観ていたけれど、彼も拍手を送ってくれていると思う。来年はまた新しいカタチの大会を考

えます」と大会ゼネラルプロデューサーの扇一平氏。2024年も同時期に会場も同じ東京ポートボウルで新たな「シニアスポーツサポート」の大会を開催する意向だ。



▲サプライズ登場のKORN氏(左)と男子優勝の小原

プロアマダブルス戦結果

順位	チーム	スコア
優勝	姫路 麗・黒田アーサー	1,388
第2位	近藤 菜帆・前浜 博暁	1,357
第3位	桑藤 美樹・西脇 昌紀	1,352
第4位	石田 万音・平野 光昭	1,349
第5位	玉井慎一郎・菅岡 文恵	1,344

*ゲーム数は2×3G

BPAJ 第55回宮様チャリティー大会 鈴木彪雅、崎山穂花両選手が初優勝

(公社)日本ボウリング場協会(BPAJ/武田竜会長)主催の「第55回宮様チャリティーボウリング大会」が11月25・26の両日、都内港区の品川プリンスホテルボウリングセンターにて開催された。一般の部には、全



▲一般の部男女優勝者

国各地から男子184名、女子84名(BL含む)の選手が参加。最終日の優勝決定戦は、今年も三笠宮瑤子女王殿下(社会福祉法人 友愛十字会総裁)ご台臨の下で行われた。

その結果、女子の部は準決勝1位でトップシードの崎山穂花選手(JBC神奈川)がシュートアウトを勝ち上がってきた飯箸あゆみ選手(NBF)を205:169で破って初優勝を飾り、寛仁親王妃牌を手にした。崎山選手は県立綾瀬西高3年の18歳。プロ志望で、来年度のプロテストを受験予定だが「その前

に、去年準優勝で悔しい思いをしたので」と、濱崎りりあ選手とのペアで挑む年末の全国高校対抗選手権でのリベンジを誓った。

男子の部も、トップシードの鈴木彪雅選手(JBC千葉)が、「憧れの選手の一人」というシュートアウト勝ち上がり組の佐々木銀次選手(NBF)を247:178で撃破し、寛仁親王妃牌を初戴冠した。鈴木選手は2020年の全日本新人選手権成年男子の部覇者。「次は全日本選手権(24年3月)の優勝を目標にしたい」と意気込んだ。

なお、障害者の部(69名参加)を含む結果の詳細はBPAJのホームページにてご確認ください。

JBC 「TEAM FESTIVAL」第2弾を開催!

(公財)全日本ボウリング協会(JBC/北川薫会長)は2024年2月24・25の両日、「THE TEAM FESTIVAL 2024 Winter」と銘打った大会をドリームスタジアム太田(群馬県太田市)にて開催する。同大会は今年3月に神戸六甲ボウルで行われ、大好評を博した「新しいチームボウリングの大会」の第2弾だ。

今回はダブルス戦、4人チーム戦の2種目で行われるが、前回同様に種目ごと、ラウンドごとに趣向を凝らした変則ルールが採用される。

競技ボウラーであればだれでも参加でき、日本ボウラーズ連盟(NBF)からも推薦チームが出場予定だが、エントリーの受付開始から数日で募集定員に達し、すでに受付を終了しているので悪しからずご了承ください。



▲JBCに「新しい風」を吹き込んだ第1回大会の会場風景(3月12日、神戸六甲ボウル)

トーナメントカレンダー

開催日	大会名	開催センター
(アマチュア)		
12月23日(土)~24日(日)	JBC文部科学大臣杯 第30回全国高校対抗選手権	津ランドボウル(三重)
(プロ・オープン)		
12月14日(木)~16日(土)	HANDA CUP 第55回全日本女子プロ選手権	新狭山グランドボウル(埼玉)

最新の技術、豊富な経験を持つ **ドリラー6名在籍**

当センター専属プロボウラー
時本美津子プロ 名和秋プロ 金子萌夏プロ 市原電太プロ 永野すばるプロ

JR横浜線・相模原駅徒歩2分
相模原パークレーンズ
http://parklanes.jp/ TEL.042-755-1110

オンラインショップのパイオニア **今すぐアクセス**